



2021 年度  
第 13 号

# 体育市民連帯 ニュースレター

1  
人権に配慮した  
スポーツ文化



2  
崔スクヒョン選手の死、  
労災認定が  
スポーツ界に投げた課題



3  
今は障害者スポーツの  
人権問題も見直す時



4  
運動は1人年間  
40万ウォンの  
医療費削減効果...  
それだけではない



5  
学校運動部の  
暴力を防止し  
学生選手生活を  
向上させる5つの方法

6  
文体部、  
「仮想現実スポーツ室」  
運営

大韓民国スポーツの

根本的变化を

皆さんと共に

作って行きたいです

体育市民連帯と共に

していただけますか？



## 01 慶北毎日 時事フォーカス 2021.04.19

## 人権に配慮したスポーツ文化

朴ソンリユル トレーニング科学研究所長、釜慶大兼任教授



過去に韓国の学校体育は国家主義、勝利至上主義的体育政策と相まって、人権に配慮するというより「人権放置」または「人権侵害」の環境を助長してきたのが事実だ。しかし最近、学校体育振興法の制定により学校運動部所属の学生は、練習と大会出場に剥奪されてきた学習権の保障とともに過度の練習、暴力などの身体的、精神的な人権侵害が発生しないようにする法的制度が設けられた。

制度的装置が設けたと言って学生選手たちのスポーツ人権が自然継続的に保証されるわけではない。民主主義が制度の導入だけで完成されているのではなく、その制度を運営する人々の形態と意識の変化が伴う必要があるのと同じだ。結局、人権に

配慮したスポーツ文化が定着されるには学校体育振興法という制度の下、体系的かつ科学的に指導できる体育指導者の意識変化と専門性の向上が伴わなければならない。体育指導者は学生選手の人権を尊重し、教育者、相談者、管理者としての役割をあまねく行う必要がある。

また、体育指導者は種目別の特性に応じて学生選手を効果的に導くことができる指導法と戦略を実践することが必要である。個人種目の場合、個人の特性に合わせた個別の練習と相談を実施しなければならず性的不快感を与える行動に注意しなければならない。団体種目はチームのメンバー間で相互尊重できる雰囲気を作り、スポーツマンシップを発揮できるようにしなければならない。格闘技種目では負傷の予防のための対策と選手時代に体得した経験から抜け出し、科学的根拠に基づく訓練方法の適用が重要であり、攻撃性を調節できる人格教育も定期的に並行しなければならない。

また、体育指導者は練習や試合だけでなく、日常生活でも学生選手を指導・管理できなければならない。時期別のトレーニング目標、内容、方法を具体的に知らせ、学生選手が自ら主導的に練習できるように奨励しなければならない。優秀な選手だけでなく、非優秀選手の競技力向上とモチベーションに関心を持たなければならない。チームの規定を合理的に適用して不当な処遇がないようにしなければならない。特に試合前、中、後に相手チームへの配慮と尊重の言動を見せることで、学生選手がスポーツ指導者のこのような行動を自然にまねるようにしなければならない。練習と試合時間外にも、けが、学業、進路などの悩みを相談してあげ、健康と体力の状態も専門機関や専門家と協力し、定期的に点検しなければならない。このように、人権に配慮した体育指導者は学生選手が競争に勝つよりスポーツを通じて社会性と道徳性を養うことを優先的な目標としなければならない。しかし、これらの要求は特に学生選手を指導する専門体育指導者にとって非現実的である場合がある。勝利を通じた補償があまりに大きい現在の体育特技者制度の下では、指導者や保護者の両方が教育的価値ではなく、スポーツを通じた進学と就職、年俸獲得がより重要な目的となってしまう。したがって体育指導者たちが勝利に執着しなくても生計を保障されて名誉の仕事ができるように処遇改善がなされなければならない。

出典：<https://www.kbmaeil.com/news/articleView.html?idxno=874010>

## 02 京郷新聞 2021.04.22

### 崔スクヒョン選手の死、労災認定がスポーツ界に投げた課題



<金ヨンミン記者>

慶州市庁トライアスロンチームで苛酷行為に苦しんでこの世を去った崔スクヒョン選手の死が労災と認められた。勤労福祉公団大邱業務上疾病判定委員会は最近、全会一致で崔選手の死を業務上の疾病に関連した死亡と判定した。チーム内の過酷行為で精神的圧迫感が加重され、認識能力が明らかに低下した適応障害の状態に極端な選択をしたもので業務の関連性が相当であると判断した。スポーツ界で職場いじめ・嫌がらせ・暴行など苛酷な行為に起因する労災が認められたのは初めてだ。これまで個人間の問題とされていたスポーツ暴力を社会問題として眺める転機が設けられた。

判定位は崔選手が職場で受けた過酷な行為を死の原因として見た。所属チームの業務遂行の過程で監督・先輩などの常習的な暴行・強要・いじめに苦しめられ、そのため精神科の治療を受けた事実を確認した。また、崔選手が成績に応じて給与削減や契約解除をされることのある年俸契約の実業チーム選手という点にも注目した。慶州市体育会と1年単位での契約を結んできた崔選手が職業不安定のせいで受けた業務上の負担も死亡要因として作用したというものである。成績のため、いつも指導者や先輩・同僚の顔色を見て訓練時間外にも制約を受けた点も考慮した。このすべてが職場と業務現場で起きた事であるだけに崔選手の死を労災と判断したのは当然である。今回の労災認定により現在控訴審が進行中である加害者の疑いが業務上過失致死に変わる事があり得る。検察はこれまで加害者に崔選手の死と直接関連がないとして業務上過失致傷の疑いを適用した。また、人事・労務の管理監督責任がある慶州支庁、大韓トライアスロン協会、大韓体育会などの上級機関について労働関連法違反かどうか入念に調べることができるようになった。綿密な捜査と厳正な法の適用が行われなければならない。

崔選手が亡くなった後、スポーツ界人権侵害申告と処罰を強化した「崔スクヒョン法」が作られて、スポーツ倫理センターが設立された。しかしスポーツ暴力の根源である成績中心のシステムは相変わらずだ。国家人権委員会は最近、職場のチームだけでなく、学校の運動部内の暴力的統制の慣行を規制・予防することが急務であると明らかにした。スポーツ界の誤った位階文化と成績至上主義が根絶されない限り、別の悲劇が生まれることになる。今回の労災認定は選手をチームの付属品ではなく、業務を実行するメンバーとして尊重する出発点にならなければならない。

出典：[http://news.khan.co.kr/kh\\_news/khan\\_art\\_view.html?artid=202104222041015&code=990101](http://news.khan.co.kr/kh_news/khan_art_view.html?artid=202104222041015&code=990101)

## 03 メディア済州 2021.04.23

### “今は障害者スポーツの人権問題も見直す時”



<金ヒョンフン記者>

スポーツは先輩と後輩という序列が支配する場合が多い。人権を蹂躪される場合も多いが大抵は息を殺して暮らしている。最近になってスポーツの中で問題が浮き彫りにされ、彼らの人権を新たに見直している。

障害者スポーツはどうだろうか。あまり見直されないでいる。だから彼らの声を聞いてあげて困難を解消してくれる窓口が切実だ。済州では済州障害者体育発展フォーラムがそのような役割をしてくれている。発展フォーラムは一般の人たちには馴染みがないし、知られない名前だが、活動の幅を徐々に広げている。発展フォーラムは去る 21 日、「障害者体育人 人権相談室運営委員会」委員を委嘱し、障害者スポーツ選手の人権問題の解消を積極的に展開することにした。運営委員会を導いている新任ソン・ギュジン委員長（済州 YMCA 事務総長）は、「今が重要だ」と話す。

ソン・ギュジン委員長は済州島で 30 年間、市民社会活動をしてきた。彼が障害者スポーツに関心を持つようになったのは 2019 年に済州で開かれた「ユニバーサルデザインエキスポ」だった。エキスポ組織委員会に自分の名前が入って障害者の移動権に関心を持って見てみた。そうするうちに障害者スポーツの人権問題もより多く知ることになったという。

「障害者移動権に関心を持って勉強をしてみると、済州障害者体育発展フォーラムとつながりました。障害者スポーツの場合は障害者体育会でも具体化されていなかったんです。発展フォーラムから資料を渡されて勉強をすることになりフォーラムの人権相談室運営委員会委員長まで引き受けることになりました」彼は死角地帯とも言える障害者スポーツの人権を見直す窓口としてフォーラムの人権相談室の役割が重要だと何度も強調した。

「スポーツは先輩・後輩の関係で非常に厳しいです。序列に応じた問題のため、人権問題が繰り返し起こっています。プロの世界でもそれほどスポーツ内の人権問題は深刻であるとも見ることができます。さらに障害者はあまり表現をしないので表れなかったりもします。だから今が重要です。」

発展フォーラムの「障害者体育人 人権相談室運営委員会」の任期は 2 年である。ソン・ギュジン委員長は長くはないが、短くもないという。2 年の間に十分できる仕事があるという。

「人権相談室は制度的に財政支援を受けられずにいます。今年内に障害者スポーツの人権向上のための条例を制定して、人権相談室が制度圏内で安定した運営ができるようにする事が必要です。また、障害者スポーツ人の避難所も造ろうと思います。2 年の任期内に十分にできると展望しています。」

済州障害者スポーツ発展フォーラムはまだ聞きなれない。対外的によく知られていない。まずは知らせることが必要である。ソン・ギュジン委員長もこの部分は同意をしている。

「今年 8 月から 9 月の間に障害者体育に関する博覧会を準備中です。島民対象博覧会ですが、博覧会を通じて人権相談室についての認知を高め、訪ねて行く相談活動をするならば、口伝えに広がるでしょう。」一方、障害者スポーツに関連した困難を訴えたい方は済州障害者体育発展フォーラム（☎064-721-2994）に連絡を。

出典：<http://www.mediajeju.com/news/articleView.html?idxno=330014>

## 04 スポーツ京郷 2021.04.24

### 運動は 1 人年間 40 万ウォンの医療費削減効果... それだけではない

文化体育観光部、国民体育振興公団は「国民体力 100」という事業を行っている。満 11 歳以上の国民を対象とする体育福祉サービスだ。国民体力認証センターで体力を測定した後、運動プログラムを処方してくれる。



先日、韓国スポーツ政策科学院（KISS）が運動効果を医療費削減として計算した研究資料を発表した。研究では科学院が2013～2017年の5年間、国民体力100の参加者の中で資料利用に同意した人を対象に行われた。彼らの国民健康保険公団医療費請求資料も活用された。国民体力100の参加者1325人、彼らと同じ性別、年齢基準で非参加集団2650人を無作為に抽出して比較した。前年度と翌年の年間医療利用パターンの変化を比較した結果、国民体力100参加集団は総医療費が7万6768ウォンの増加にとどまった一方、非参加集団は47万9101ウォン増えた。二集団間の差額が年間約40万ウォンだ。公団は「国民体力100の参加者が30万人（2019年基準）」なら「年間約1200億ウォンの医療費削減効果がある」と説明した。国民体力認証センターは全国に75カ所ある。

国民体力100 会員登録リンク <http://14.49.46.105/front/member/memberCheck.do>



出典：[http://sports.khan.co.kr/sports/sk\\_index.html?art\\_id=202104241141003&sec\\_id=530101&pt=nv](http://sports.khan.co.kr/sports/sk_index.html?art_id=202104241141003&sec_id=530101&pt=nv)

## 05 スポーツ京郷 2021.04.25

### 学校運動部の暴力を防止し学生選手生活を向上させる5つの方法



最近まで頻繁に発生している学校運動部の暴力問題の解決策が幅広く議論された。去る23日に開かれた「2021 体育週間記念学術大会」に参加した専門家は、5つの解決策を提示した。一回の見直し案ではなく、暴力そのものを根絶する短期案から、進路の幅を多様に広げる中長期の案まで議論された。

短期案で注目を集めたのは協議体構成である。学生運動部に関連する利害関係者が暴力根絶に皆が力を合わせるものだ。学校では学生、指導者、親、教師、校長が協議体を構成する。学校の外では文化体育観光部、教育部、司法、大韓体育会などが頭を寄せる。これをうまく行っているのがシンガポールだ。ジョン・ホジン教授（シンガポール南洋工科大学、国立教育大学体育教育科）は、「学校暴力のないスポーツ、安全なスポーツ環境：シンガポールの事例」という問題提起で、「シンガポールにはシンガポール体育会、教育部、社会家族部、警察庁、種目別協会、選手協議会、障害者選手代表団、コーチ代表団、法律代表団代表者で構成されたセーフスポーツ委員会がある」と述べた。ジョン教授は「セーフ委員会は認識、予防、事件処理、懲戒手続きの4段階で暴力発生と予防のための政策を徹底的に履行している」と説明した。

指導者の評価基準と資格証改善案も解決策として提示された。ソン・ジファン教授（全州教育大学）は、「ひたすら成績とメダルで自分の成否が決定される構造の中では、指導者と学生選手の両方が鋭敏になり、暴力の可能性が高くなる」と評価指標の多様化の必要性を取り上げた。指導者が継続的な再教育に続く徹底的な評価で認定を更新する必要があるという意見も出た。ジョン・ヒョンウ韓国スポーツ政策科学院研究委員は「今は大きな制限なく誰でもスポーツ指導士認定試験を受けることができる」とし「合格者の数を減らしてでも資格受験資格を強化し、指導者能力を専門化する方向で制度が改善されなければならない」と述べた。

学生学習権強化のための方策も提示された。ターゲットとなったのは特技者制度だ。特技者制度は事実上、大会成績だけで大学に行くことができようにした制度だ。ジョン・ヒョンウ委員は「運動だけでできて大学に行ける国は韓国がほぼ唯一だ」とし「40年前に設けられた制度だ。今の状況に合わせて改善しなければならない」と述べた。大学が特技者を選ぶとき学業成績の割合を高めると、小中高は学業を徹底的にするしかない。ソン・ジファン教授は「学生選手は早期に専門の道に入ったと見なければならない」とし「学生アスリートのための個別化された教育課程が作られなければならない」と強調した。

学習と運動両立のための設備、環境が先行的に完備されなければならないという意見も出た。ユ・チュンオク教師（仁一女子高校）は「良い運動環境が用意されてこそ運動時間を削減し、学習時間を増やすことができる」と述べた。指導者が科学的な先進指導法を研究しなければならないという意見も一理あるが、これを指導個人の責務とだけみて良質の施設設備が先行されなければならないという意見も提示された。ソン・ジファン教授は「学生選手が行くことができる進路の幅が狭すぎるので、ときには同僚も競争者となって指導者と学生選手の両方が大会成績だけにしがみつくとし「このような構造を改善し、進路の多様性、職業安全性を高

めてこそ、スポーツにだけしがみついて体罰まで甘受する状況を改善できる」と述べた。進路の多様化はスポーツ産業化なしには不可能である。スポーツを産業化することで金も回って仕事先もできる。政府がスポーツを、福祉を超えて産業として見て政策を用意してこそ出口が見えてくる。

この日の祝辞を述べたユ・ビョンチェ文化体育観光部体育局長は「学術大会で出された意見をまとめて、今後の政策を反映するために貴重な資料として使う」と話した。

出典：<https://n.news.naver.com/sports/general/article/144/0000732607?lfrom=kakao>

## 06 ファイナンシャルニュース 2021.04.21

### 文体部、「仮想現実スポーツ室」運営



文化体育観光部は国民体育振興公団と共に小学生がより安全で楽しいスポーツ活動を楽しめるよう5世代移動通信(5G)を基盤として非対面交流活動を支援し、様々な融合・複合スポーツコンテンツを提供する「仮想現実スポーツ室」を運営する。文体部は微細粒子ほこり(PM2.5)、猛暑により屋外のスポーツ活動が萎縮される問題に対応しようと、スポーツ分野研究開発

(R&D)事業を通じて「小学校バーチャルリアリティスポーツ技術」を開発し、2017年の10校モデル事業をもとに、2020年までに全国361校の小学校に仮想現実のスポーツ室設置を支援してきた。

今年から5世代移動通信(5G)を使った統合オンラインシステム(プラットフォーム)の形で「バーチャルリアリティスポーツ室」を支援する。統合オンラインシステムでは連絡網(ネットワーク)を活用して、全国の学校間のリアルタイム対抗戦を開催することができる。これまでコロナ19の状況で学校間の対面交流活動が難しかったが、今では仮想現実のスポーツ室を介して非対面スポーツ交流活動を継続できるようになった。

また、学生の目の高さに合わせた融合・複合スポーツコンテンツ123種を提供し、さらに様々なスポーツ活動を楽しむことができるようにした。文体部は毎年新しい流れを反映した新規コンテンツを発掘して継続的に普及する計画である。

文体部は今年、既存の仮想現実スポーツ室を設置した学校に統合オンラインシステムを構築できるように支援して、小学校100校に仮想現実スポーツ室を追加で普及する計画である。

今年3~4月に希望する学校を1次公募し、5~6月に2次公募を行う。今回の事業に関する詳細については国民体育振興公団ホームページと仮想現実スポーツ室ホームページで確認できる。

併せて文体部はソウルオリンピック公園平和の広場にある「スマートスポーツ体験館」で、小学校の関係者と市民が直接仮想現実スポーツ室を体験できるように支援している。

出典：<https://www.fnnews.com/news/202104210843209622>

## 07 週間スポーツ関連ニュース

「美しい競争×公正な世界」ソウル市教育庁、生活の中のスポーツ価値の実践宣言式

<https://sports.chosun.com/news/ntype.htm?id=202104260100208270013682&servicedate=20210425>

国家人権委光州事務所、スポーツ人権改善模索

<http://www.kjdaily.com/read.php3?aid=1618829998543552062>

競輪・競艇スポーツ心理カウンセリングプログラムの業務協約を締結

<http://mksports.co.kr/view/2021/377274/>

済州、学校暴力予防 CCTV 設置... 教育庁は冷ややか

<http://www.jibs.co.kr/news/replay/viewNewsReplayDetail/2021042421214273559?feed=na>

崔スクヒョン選手労災認定、体育人も労働者の認識契機に

<http://news.heraldcorp.com/view.php?ud=20210422000542>

北京オリンピック共同ボイコット問題で広がった米中対立

[https://biz.chosun.com/site/data/html\\_dir/2021/04/15/2021041502565.html?utm\\_source=naver&utm\\_medium=original&utm\\_campaign=biz](https://biz.chosun.com/site/data/html_dir/2021/04/15/2021041502565.html?utm_source=naver&utm_medium=original&utm_campaign=biz)

学生選手暴行した指導者A氏は協会除名

<http://www.kado.net/news/articleView.html?idxno=1070636>

eスポーツ、東京オリンピック事前行事として採用

<http://www.inven.co.kr/webzine/news/?news=254991&isikin=esports>

京畿道議会の教育企画委、京畿学生スポーツセンターの現場訪問進行

<http://www.m-i.kr/news/articleView.html?idxno=822866>

楊口郡長、「スポーツ不正疑惑一斉監査... 構造まで改善」

<http://news.kbs.co.kr/news/view.do?ncd=5169734&ref=A>

済州スポーツ科学センター、西帰浦市選手の出張体力測定を支援

[https://www.pressian.com/pages/articles/2021042316453956145?utm\\_source=naver&utm\\_medium=search#ODKU](https://www.pressian.com/pages/articles/2021042316453956145?utm_source=naver&utm_medium=search#ODKU)



# 体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。  
私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と  
福祉実現のために努力しています。  
皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための  
体育市民連帯活動に強固な土台となります。  
体育市民連帯会員として力になろうと  
される方は下の口座に後援をお願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

[http://www.sportscm.org/index.php?module=Inquiry&action=SiteInquiry&sMode=INSERT\\_FORM&inquiryNo=2](http://www.sportscm.org/index.php?module=Inquiry&action=SiteInquiry&sMode=INSERT_FORM&inquiryNo=2)

## INFOMATION

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : [sports-cm@hanmail.net](mailto:sports-cm@hanmail.net) ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳：佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 [jr1fep@gmail.com](mailto:jr1fep@gmail.com)